

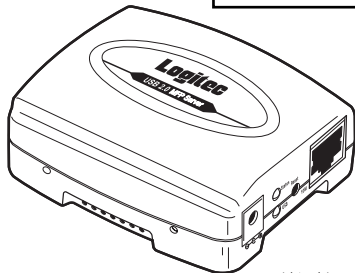
プリントサーバ設定マニュアル

USB2.0対応MFPサーバ

LAN-MFPS/U2

User's Manual

このマニュアルは、別冊の「セットアップガイド」とあわせてお読みください



はじめに	P1
安全にお使いいただくために	P2
もくじ	P4
本製品の導入手順	P13
本製品の利用方法	P40
ユーティリティのリファレンス	P54
こんなときは	P78

●このマニュアルで使われている記号

記号	意味
	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、ロジテック株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- 本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートはおこなっておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破壊など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略させていただきます。

LAN-MFPS/U2

User's Manual ユーザーズマニュアル

■ はじめに ■

このマニュアルは、ロジテックのプリントサーバ“LAN-MFPS/U2”をお使いのネットワーク（LAN）に導入するための手順と、付属の管理ソフト「MFPサーバユーティリティ」の使い方について説明しています。



導入手順はネットワーク環境によって異なりますので、必ず別紙「プリントサーバ セットアップガイド」でご使用のネットワーク環境のパターンと導入作業の流れを確認したうえで、このマニュアルの「プリントサーバ導入編」の該当ページをお読みください。

このマニュアルでは一部の表記を除いて各製品名を「本製品」と表記しています。







このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

警告

-  **本製品の取り付け、取り外しのときは、必ずこのマニュアル、パソコン本体、および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。**
-  **本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。**
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。
-  **ACアダプタは本製品に付属のものを使用してください。また、ACアダプタは国内の商用電源100V以外は使用しないでください。**
付属のもの以外のACアダプタを使用すると、火災や故障の原因になります。
-  **本製品から煙やへんな臭いがしたときは、直ちにACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。**
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
-  **本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちにACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。**
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
-  **本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。**
火災や感電、故障の原因になります。

注意



本製品を次のようなところで使用しないでください。

- ・高温または多湿なところ、結露を起すようなところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
- ・静電気の発生するところ、火気の周辺



長期間本製品を使用しないときは、ACアダプタを抜いておいてください。故障の原因になります。

もくじ

はじめに	1	プリンタの設定を変更する	42
安全にお使いいただくために	2	2. スキャナの利用	43
もくじ	4	スキャナを導入する	43
		スキャナを操作する	43

Chapter 1 概要編

1. 製品の保証について	6	3. プリンタ複合機に搭載された機能の利用	46
2. 本製品の概要について	7	ストレージデバイスの利用	47
本製品の特長	7	4. 接続機器の取り外し	50
3. 本体各部の名称とはたらき	9		
4. 付属品について	11		
5. 本製品の使用環境	12		
印刷環境	12		
設定、管理クライアント環境	12		

Chapter 2 導入編

1. 本製品をネットワークに接続しましょう	14	Chapter 4 応用操作編	
2. プリンタドライバをインストール しましょう	15	1. MFPサーバユーティリティの リファレンス	54
3. ユーティリティをインストール しましょう	16	メイン画面	54
本製品のネットワーク設定の決定	16	お気に入りリスト	60
ユーティリティのインストール	25	ステータスパネル	63
4. 本製品の設定をしましょう	34	2. Web設定ユーティリティについて	64
5. テスト印刷をしましょう	37	Web設定ユーティリティの表示方法	65
		Web設定ユーティリティの リファレンス	66
		ーステータス	66
		ーセットアップ	68
		ーシステムツール	70
		ー再起動	72
		3. ファームウェアのアップデート	73
		4. 本製品のリセットボタンの使用方法	75

Chapter 3 基本操作編

1. プリンタの利用	40	Chapter 5 付録編	
プリンタから印刷する	40	1. こんなときは	78
		2. 基本仕様	83

Chapter 1

概要編

本製品の概要について説明しています。

別冊「セットアップガイド」もあわせてお読みください。

1. 製品の保証について …………… 6
2. 本製品の概要について …………… 7
3. 本体各部の名称とはたらき …………… 9
4. 付属品について …………… 11
5. 本製品の使用環境 …………… 12

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎでの修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

別冊の「セットアップガイド」の、「サポートサービスについて」をお読みください。

2 本製品の概要について

本製品の特長

本製品は、USBポートを搭載したプリンタ（複合機を含む）、スキャナに接続可能なMFP（Multi-Function Peripheral）サーバです。

双方向通信に対応していますので、本製品経由で各メーカーのプリンタに付属のユーティリティでインク残量などを確認できます。

管理ソフトはTCP/IPプロトコルに対応していますので、環境を選ばずに印刷設定、管理が可能です。

※本製品はWindowsにのみ対応しています。

●双方向通信に対応

各メーカーのプリンタには、インク残量や紙詰まり情報などを確認できるユーティリティが付属しています。本製品は双方向通信に対応していますので、双方向通信機能を利用したこれらのユーティリティを本製品経由で利用できます。

●USB 2.0 High-Speedに対応したプリンタを接続可能

「USB 2.0 High-Speed」対応ポートを搭載したプリンタに接続して、そのスピードを活かした高速通信が可能です。

※従来のUSB 1.1対応ポートを搭載したプリンタに接続して印刷することもできます。

●USB 2.0 High-Speedに対応したスキャナを接続可能

「USB 2.0 High-Speed」対応ポートを搭載したスキャナに接続して、スキャンしたデータをパソコンに取り込むことができます。

※従来のUSB 1.1対応ポートを搭載したスキャナにも対応しています。

2 本製品の特徴について

●TCP/IPを利用した管理/設定環境

本製品の設定は、下記ユーティリティからおこないます。TCP/IPプロトコルに対応していますので、Windows環境であれば特殊な設定をせずに本製品の各種設定、ステータス確認などが可能です。

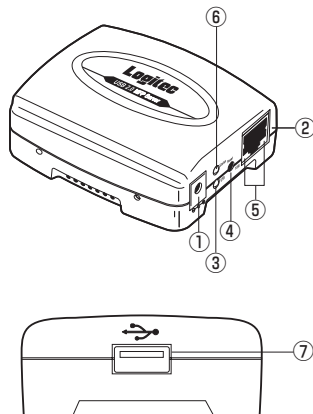
○ 付属管理ソフト「MFPサーバユーティリティ」

本製品に接続する機器について、接続/切断、ステータスの確認をおこないます。

○ Webブラウザによる設定

本製品のネットワーク設定、ファームウェアのバージョンアップなどをおこないます。

3 本体各部の名称とはたらき



① DCジャック

本製品に付属のACアダプタを接続します。
必ず本製品に付属のACアダプタをご使用ください。

② LANポート

ルータやハブなどのネットワーク機器とLANケーブルで接続します。
LANケーブルは別売です。

③ USBランプ (USB)

USB接続状態を示すLEDランプです。

USB 1.1対応機器と 接続した場合	黄色に点灯します。
USB 2.0対応機器と 接続した場合	緑色に点灯します。

3 本体各部の名称とはたらき

④ リセットスイッチ (Reset)

本製品の再起動、初期化をおこないます。
「本製品のリセットボタンの使用方法」(P75)をお読みください。

⑤ LANステータスランプ (10M, 100M)

ネットワークとリンクが確立しているときに点灯/点滅するランプです。

100Mbpsで接続	緑色のランプが点灯/点滅します。
10Mbpsで接続	黄色のランプが点灯/点滅します。

⑥ ステータスランプ (Status)

本製品とネットワーク間でデータがやり取りされているときに点滅します。

⑦ 接続ポート (USBコネクタA, メス)

付属のUSBケーブルでプリンタのUSBポートに接続します。

4 付属品について

本製品の付属品について説明します。

ACアダプタ

本製品に電源を供給します。添付のACアダプタ以外は使用しないでください。

USBケーブル

USB 2.0 High-Speedに対応した、約15cmのUSBケーブルです。
本製品のUSBポートとプリンタなどUSB機器のUSBポートを接続します。

5 本製品の使用環境

本製品は、次の環境でご使用ください。
設定、管理に使用するパソコンは、LAN環境に接続されていることが必要です。

印刷環境

本製品経由でLANに接続されたプリンタで印刷をおこなうためには、次の環境が必要です。

対応パソコン	Windowsが動作するパソコン
ネットワークプロトコル	TCP/IP
プリンタドライバ	使用するプリンタ、Windowsに対応したプリンタドライバ



本製品は、Windows Printing Systemには対応していません。
また、すべてのパソコン/OS環境からの動作を保証するものではありません。

設定、管理クライアント環境

本製品の初期設定は、Webベースのソフトウェアでおこないます。
また、本製品経由で使用するUSB機器の接続/切断、ステータスの確認などは、付属の管理ソフト「MFPサーバユーティリティ」でおこないます。

対応パソコン	各社DOS/Vパソコン NEC PC98-NXシリーズ ※LAN環境に接続されている必要があります。
対応OS (日本語OSのみ)	Windows XP Home Edition (SP2以降) Windows XP Professional Edition (SP2以降) Windows 2000 Professional (SP4以降)
対応ブラウザ	Internet Explorer 6.0以降

Chapter 2

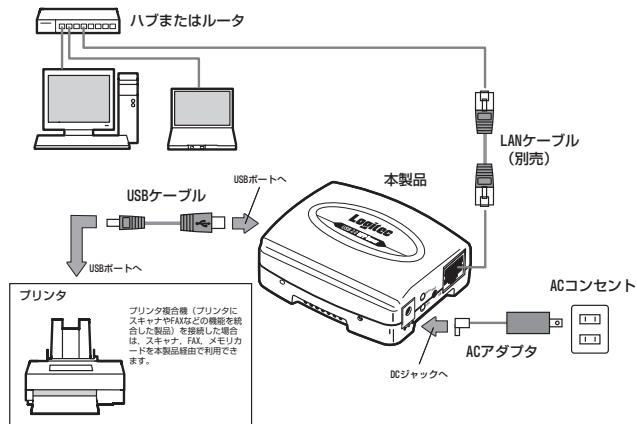
導入編

導入編では、本製品をネットワークに導入する手順について説明します。別冊の「セットアップガイド」もあわせてお読みください。

1. 本製品をネットワークに接続しましょう …… 14
2. プリントドライバをインストールしましょう …… 15
3. ユーティリティをインストールしましょう …… 16
4. 本製品の設定をしましょう …… 34
5. テスト印刷をしましょう …… 37

1 本製品をネットワークに接続しましょう

本製品をご利用のネットワーク環境に接続します。



注意 ここでは、まだプリンタを接続しないでください。プリンタと本製品は、「4. 本製品の設定をしましょう」(P24) で接続します。

- 1** ネットワーク上のすべての機器（ルータ、ハブなど）の電源を切ります。
- 2** 別売のLANケーブルで、本製品のLANポートと、ネットワーク機器（ルータまたはハブ）のLANポートを接続します。
- 3** 付属のACアダプタを本製品に接続し、ACコンセントに差し込みます。
- 4** ネットワーク機器の電源を入れます。

本製品をネットワークに接続したら、「2. プリントドライバをインストールしましょう」に進んでください。

2 プリンタドライバをインストールしましょう

本製品を利用するネットワーク上の各パソコンに、使用するプリンタに付属のドライバ、ユーティリティをインストールします。

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、この作業は必要ありません。「3. ユーティリティをインストールしましょう」に進んでください。

プリンタドライバ、ユーティリティのインストール前に、必ず下記の注意事項をお読みください。



- プリンタドライバのインストールの中には、インストール中にプリンタを検索するものがあります。ネットワーク経由でプリンタが接続されている場合、いつまでも検索中になることがあります。そのような場合は検索を中止してインストールを続けてください。
- プリンタによっては、プリンタドライバ、ユーティリティのインストール中にプリンタの接続を要求し、プリンタを接続して電源を入れないとインストールが完了できないものがあります。そのような場合は、ここでインストールせず、「4. 本製品の設定をしましょう」でインストールをおこなってください。
- インストール中、どのプリンタポートを使用するかを尋ねられた場合は、「LPT1」を選択してインストールを続けてください。実際に使用するプリンタポートは、本製品にプリンタを接続したときに自動的に設定されます。
- プリンタドライバは、最新のものを推奨します。必要に応じて各メーカーのホームページなどから最新のドライバを入手してください。

プリンタドライバのインストールが終わったら、「3. ユーティリティをインストールしましょう」に進んでください。

3 ユーティリティをインストールしましょう

本製品の管理ソフト「MFPサーバユーティリティ」をインストールします。

インストールの前に、ご利用のネットワーク環境を確認し、本製品のネットワーク設定を決めます。本製品の初期設定値で接続できない場合は、あらかじめパソコンのネットワーク設定を変更しておく必要があります。

本製品のネットワーク設定の決定

ご利用のネットワーク環境がDHCPサーバを使用しているか／していないかを確認し、DHCPサーバを使用していない場合は、IPアドレスを他のネットワーク機器と重ならないように割り当てます。

結果は、次の記入欄にメモしておきます。

DHCPサーバを使用している

→ 設定の変更は必要ありません。
「ユーティリティのインストール」に進んでください。

DHCPサーバを使用していない

→ 「パソコンのネットワーク設定を確認、変更する」をお読みになり、本製品のIPアドレスを割り当て、下記にメモしてください。

本製品のネットワーク設定メモ

IPアドレス	<input type="text"/>	(出荷時の初期設定)
サブネットマスク	<input type="text"/>	(192.168.1.200)
		(255.255.255.0)



本製品は、異なるセグメント間の利用（ルータを越えた利用）に対応しておりません。本製品を使用するパソコンのIPアドレスを同じセグメントに合わせる必要があります。

パソコンのネットワーク設定を確認, 変更する

ご利用のネットワークがDHCPサーバを使用している場合は、この設定は必要ありません。「ユーティリティのインストール」(P25)に進んでください。

ご利用のネットワークがDHCPサーバを使用しない設定になっている場合は、お使いのパソコンのIPアドレスを確認し、必要に応じて変更する必要があります。

●すでに使用中のネットワークに本製品を追加する場合

この場合はネットワーク上の各パソコンのIPアドレスを確認し、そのIPアドレスを基に本製品のIPアドレスを設定する必要があります。

すでにご利用のネットワークのIPアドレスがわかっている場合

◆IPアドレスが「192.168.1.xxx」の場合

「ユーティリティのインストール」(P25)に進んでください。

◆IPアドレスが「192.168.1.xxx」以外の場合

「Windows XP/2000での確認と設定」の手順4「●初期設定用のIPアドレス設定」(P23)に進んでください。

●新しく構築するネットワークに本製品を使用する場合

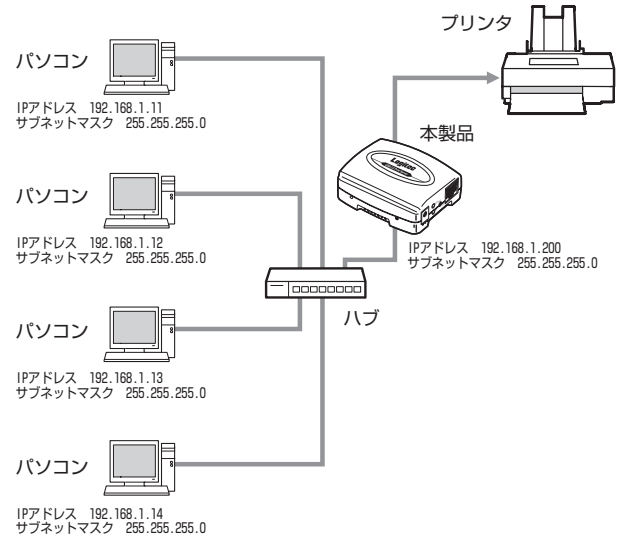
この場合はネットワーク上のすべてのパソコンに手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。このあとの説明をお読みになり、各パソコンにIPアドレスを割り当ててください。

特定のIPアドレスを使用する必要がある場合を除けば、次ページの構成例と同じIPアドレスでネットワークを構築することをお勧めします。

3. ユーティリティをインストールしましょう

●DHCPサーバ機能がないネットワークの構成例

IPアドレスはご利用のネットワークによって数値が異なります。



MEMO デフォルトゲートウェイについて

Windows XP/2000では、デフォルトゲートウェイの入力が必要です。この構成例を参考にされる場合は「192.168.1.254」を入力してください。

Windows XP/2000での確認と設定

説明の画面例はWindows XPを使用していますがWindows 2000でも操作手順は同じです。

- 1** ローカルエリア接続のプロパティを表示します。Windows XPとWindows 2000で表示方法が異なります。

●Windows XPの場合

複数のユーザーアカウントを使用している場合は、管理者権限があるユーザーアカウントでログオンしてください。

→詳しくは、P38「Windows XPの管理者権限について」をお読みください

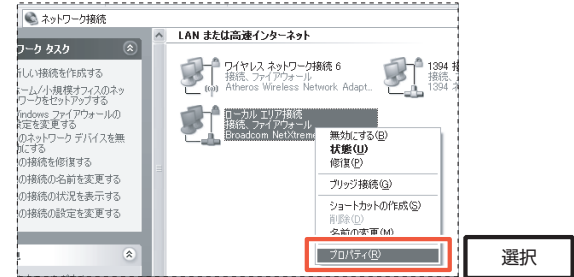
- ① [スタート]→[コントロールパネル]を選択します。
- ② <コントロールパネル> 画面にある[ネットワークとインターネット接続]を選択します。クラシック表示の場合は[ネットワーク接続]アイコンをダブルクリックし、手順へ進みます。
- ③ <ネットワークとインターネット接続> 画面にある「コントロールパネルを選んで実行します」の[ネットワーク接続]を選択します。

●Windows 2000の場合

- ① Windows 2000には管理者(Administrator)権限でログオンしておきます。
- ② [スタート]→[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]を選択します。

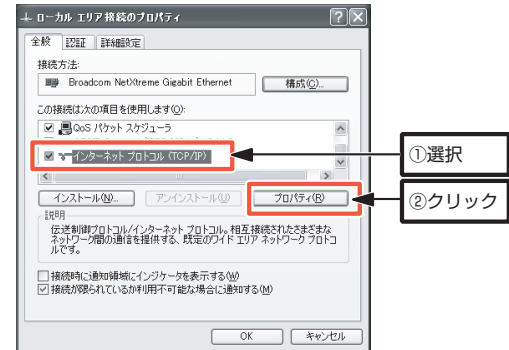
3. ユーティリティをインストールしましょう

- 2** 「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」を選択します。



[ローカルエリア接続]の名称は、LANアダプタをインストールした環境によって変わります。

- 3** インターネットプロトコル (TCP/IP) を選択し、**プロパティ**をクリックします。



MEMO

「プロパティ」が選択できない状態の場合

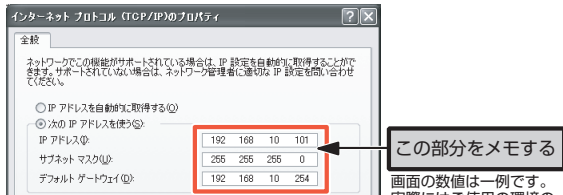
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を有効にします。

4

すでに使用中のネットワークの場合は現在のIPアドレスを確認します。
新しくネットワークを構築する場合はIPアドレスを設定します。

●すでに使用中のネットワークの場合

[次のIPアドレスを使う]が選択されており、IPアドレス等の数値が設定されています。各項目の設定値をメモします。



この部分をメモする

画面の数値は一例です。
実際にはご使用の環境の
数値が表示されます。

<メモ欄>

IPアドレス	
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	

IPアドレスの確認結果により、以降の手順が異なります。

◆IPアドレスが「192.168.1.xxx」の場合

以降の操作は必要ありません。

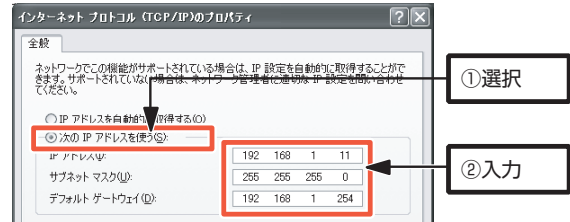
「ユーティリティのインストール」(P25)に進んでください。

◆IPアドレスが「192.168.1.xxx」以外の場合

このあとの、「●初期設定用のIPアドレスの設定」(P23)に進んでください。

●新しくネットワークを構築する場合

[次のIPアドレスを使う]を選択し、IPアドレス等の数値を入力します。



①選択

②入力

どんな数値を入力したらよいのかわからない場合

ホームユースやSOHOなどで、特に決まった数値を入力する必要がないネットワーク環境では、P18「DHCPサーバ機能がないネットワークの構成例」の図を参考にを入力します。

- ・IPアドレスは「192.168.1.11」から順に各パソコンに割り当ててください。同じ数値のパソコンが複数あると正常に動作しません。
- ・サブネットマスクは「255.255.255.0」にしてください。
- ・デフォルトゲートウェイは「192.168.1.254」にしてください。
- ・サブネットマスクとデフォルトゲートウェイはすべてのパソコンで同じ数値にしてください。

MEMO

3桁未満の数値を入力したあと右のブロックへ移動する場合は、キーボードの キーを押してください。



●初期設定用のIPアドレス設定

現在利用しているネットワーク、または新しく構築するネットワークで「192.168.1.xxx」以外のIPアドレスを使用する／したい場合は、次の手順で設定をおこないます。

① 初期設定用にIPアドレスを変更

「新しくネットワークを構築する場合」を参照して、IPアドレスを次のように変更し、手順5以降に進みます。

IPアドレス	192.168.1.xxx ※ xxxは、0~253の範囲で、他のパソコン、ルータなどのネットワーク機器と重ならないようにしてください
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254

② 本製品のIPアドレスを変更

いったんセットアップを完了したあと、Web設定ユーティリティの[セットアップ]→[TCP/IP]（P69）で、本製品のIPアドレスをご利用のネットワークに合わせて変更します。

③ パソコンのIPアドレスを元に戻す

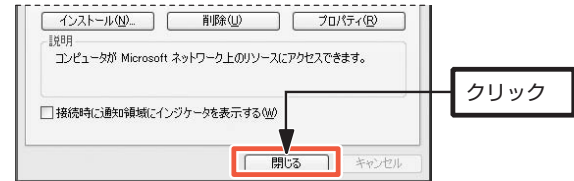
初期設定用にIPアドレスを変更したのと同じ手順で、メモしておいたアドレスに設定を戻します。

5 入力が終われば、OKボタンをクリックします。



3. ユーティリティをインストールしましょう

6 <ローカルエリア接続のプロパティ> 画面を開きます。



- ・ Windows XPでは、**閉じる** をクリックします。ただし、手順5で **キャンセル** をクリックした場合は、**OK** が表示されます。
- ・ Windows 2000では、**OK** をクリックします。

7 これでIPアドレスの確認と設定は完了です。

IPアドレスの設定が終わったら、次の「ユーティリティのインストール」に進んでください。

ユーティリティのインストール

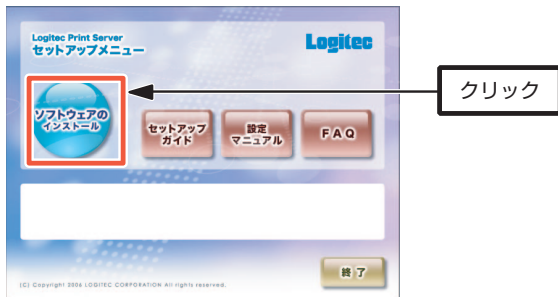
本製品に付属のソフトウェアパック（CD-ROM）から、セットアッププログラムを実行し、「MFPサーバユーティリティ」をインストールします。説明の画面例はWindows XPを使用していますが、他のOSでも操作手順は同じです。

インストールは、次の手順でおこないます。

- <1> MFPサーバユーティリティのインストール
<2> ドライバのインストール

MFPサーバユーティリティのインストール

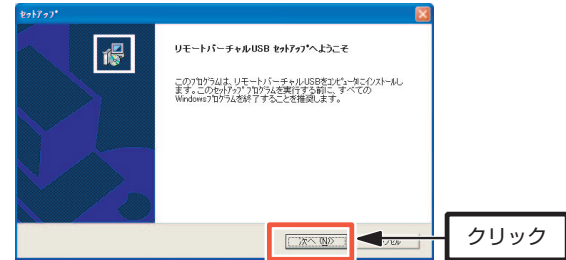
- 1 ソフトウェアをインストールするパソコンの電源を入れて、Windows を起動します。
- 2 付属のソフトウェアパック(CD-ROM)をドライブにセットします。しばらくするとセットアップメニューが表示されますので、「ソフトウェアのインストール」をクリックします(セットアップメニューは自動的に終了します)。



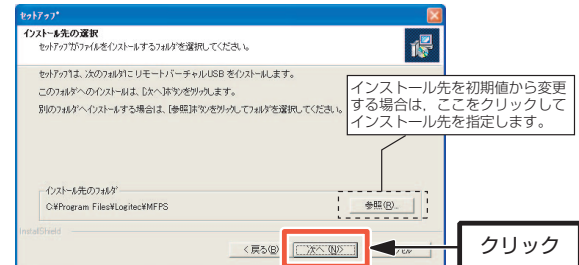
3. ユーティリティをインストールしましょう

- 自動的にセットアップメニューが表示されない場合は次の操作で表示させてください。
 - ① [マイコンピュータ]などを使ってCD-ROMの内容を開きます。
 - ② 「menu.exe」アイコンをダブルクリックします。
 - ※ 操作①でCD-ROMアイコンをダブルクリックしただけで、セットアップメニューが表示される場合もあります。

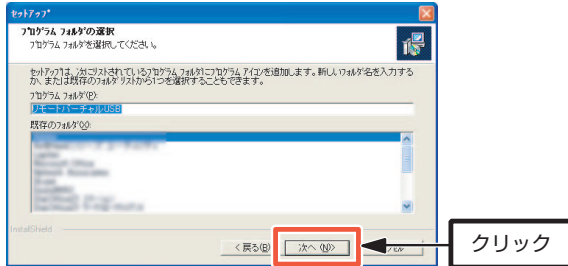
- 3 「リモートバーチャルUSBセットアップへようこそ」と表示されますので、**次へ**をクリックします。



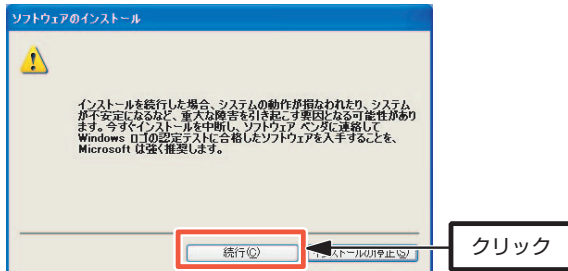
- 4 インストール先を指定します。通常はそのまま変更する必要はありませんので、**次へ**をクリックします。



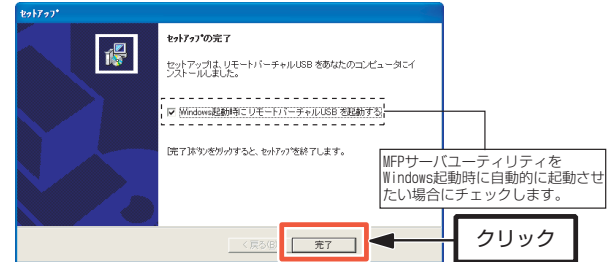
- 5** プログラムフォルダを指定します。通常は「リモートバーチャルUSB」から変更する必要はありませんので、**次へ**をクリックします。



- 6** 途中で、次の画面が表示されることがありますが、そのまま**続行**をクリックします。「MFPサーバユーティリティ」は、弊社で正常に動作することを確認済みです。



- 7** セットアップが完了すると、次の画面が表示されます。Windows起動時に自動的に「MFPサーバユーティリティ」を起動させたい場合は、「Windows起動時にリモートバーチャルUSBを起動する」にチェックを入れ、**完了**をクリックします。



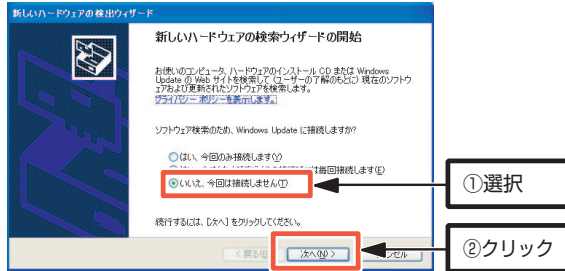
引き続き、自動的にドライバのインストールが始まります。

ドライバのインストール

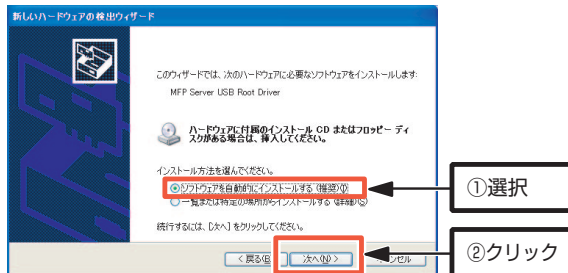
本製品を使用するためには、MFPサーバユーティリティのほかに、「MFP Server Root Driver」をインストールする必要があります。

「MFP Server Root Driver」のインストールは、MFPサーバユーティリティのインストール終了後に自動的に始まります。

- 1** 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が自動的に起動します。
「いいえ、今回は接続しません」を選択して、「次へ」をクリックします。

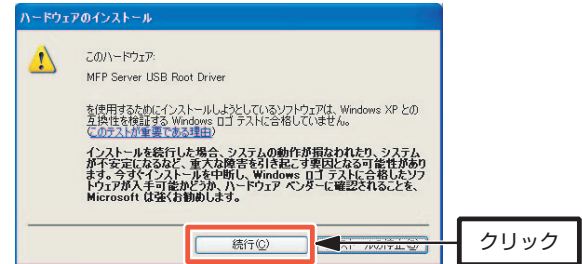


- 2** 「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)」を選択して、「次へ」をクリックします。



3. ユーティリティをインストールしましょう

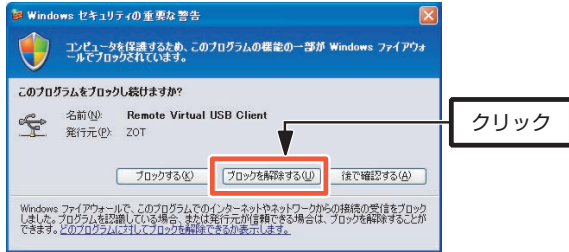
- 3** 途中で、次の画面が表示されることがありますが、そのまま「続行」をクリックします。本製品は、弊社で正常に動作することを確認済みです。



- 4** セットアップが完了すると、次の画面が表示されます。「完了」をクリックします。



- 5** Windows XPで「Windowsファイアウォール」を有効にしている場合、次の画面が表示されますので、「**ブロックを解除する**」をクリックします。



このダイアログは、本製品の双方向通信機能がWindowsファイアウォールによるブロックの対象となるために表示されます。本製品を使用するには、「ブロックを解除する」を選択して本製品の通信をWindowsファイアウォールの対象外にする必要があります。

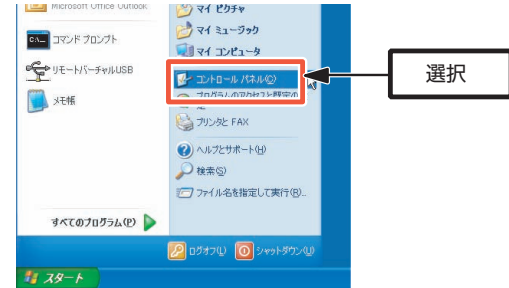
MEMO Windowsファイアウォール以外のファイアウォールソフトを使用している場合にも、同様のメッセージが表示されますので、本製品をファイアウォールの対象から外してください。操作方法については、ファイアウォールソフトのマニュアルをお読みください。

これで、ユーティリティのインストールはすべて完了です。
引き続き、「4. 本製品の設定をしましょう」に進んでください。

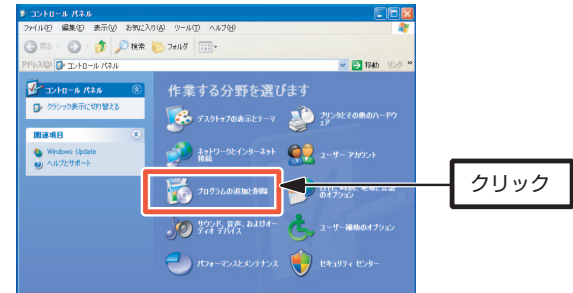
ユーティリティのアンインストール

MFPサーバユーティリティ、MFP Server Root Driverのアンインストールは、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」からおこないます。

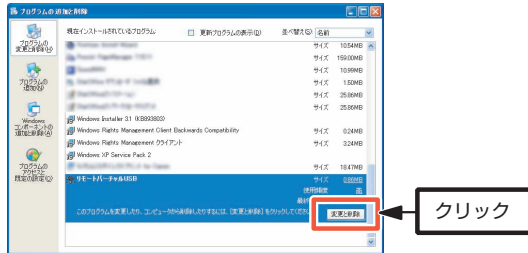
- 1** スタートメニューから[コントロールパネル]を選択します。



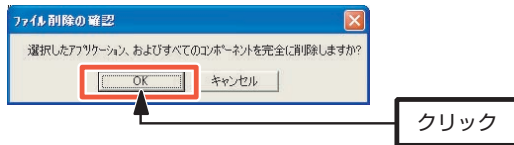
- 2** 「プログラムの追加と削除」をクリックします。



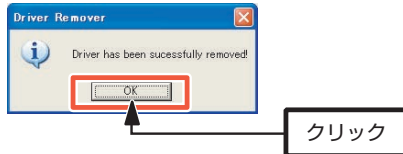
- 3 「リモートバーチャルUSB」を選択し、**変更と削除** をクリックします。



- 4 「ファイル削除の確認」ダイアログが表示されますので、**OK** をクリックします。



- 5 MFP Server Root Driverの削除が成功すると、次のダイアログが表示されますので、**OK** をクリックします。



- 6 MFPサーバユーティリティ(リモートバーチャルUSB)が自動的に削除され、「プログラムの追加と削除」画面に戻ります。プログラム一覧から「リモートバーチャルUSB」が削除されたことを確認して、画面を閉じます。これで、アンインストールは完了です。

4 本製品の設定をしましょう

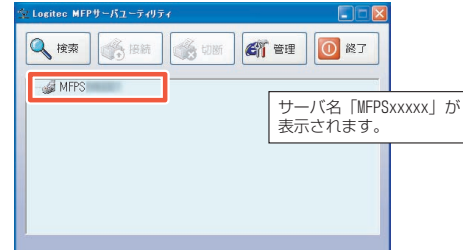
本製品にプリンタを接続して、本製品を経由して印刷ができるようにします。

「初期設定用のIPアドレス設定」(→P23)で、初期設定用にパソコンのIPアドレスを変更した場合は、プリンタを接続する前に、ご利用のネットワークに合わせて本製品のIPアドレスを変更してください。
IPアドレスの変更は、Web設定ユーティリティの[セットアップ]→[TCP/IP](P69)でおこないます。

- 7 スタートメニューから[すべてのプログラム]→[Logitech]→[リモートバーチャルUSB]を選択し、MFPサーバユーティリティを起動します。



- 2 ネットワークに接続された本製品が検索され、本製品のサーバ名(ネットワーク上での名称)「MFPSxxxxxx」が表示されます。



「サーバ名」の初期値は本製品のMACアドレスによって変わります。

初期値：MFPS (MACアドレス)

(MACアドレス)の部分には、本製品のMACアドレス下位6桁が表示されます。ネットワーク上で本製品を2台以上使用する場合は、同じ名称にならないように変更する必要があります。

→ サーバ名の変更は、Web設定ユーティリティの[セットアップ]→[システム] (P69) でおこないます。

MEMO [サーバ名]に使用できる文字は半角15文字までです。英数字のほか「- (ハイフン)」が使用できます。大文字/小文字は区別されません。全角文字を使用した場合、環境によっては正常に動作しません。

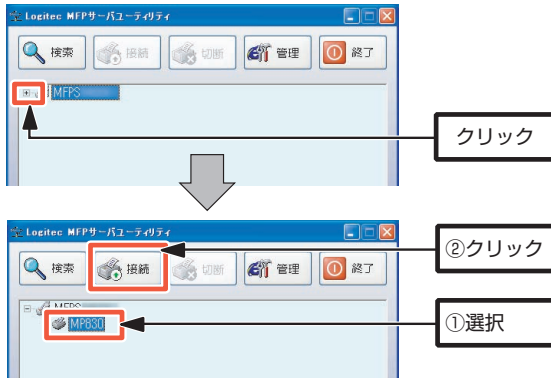
3 添付のUSBケーブルで、本製品とプリンタを接続します。

まだプリンタドライバをインストールしていない場合は、本製品にプリンタを接続する前にプリンタドライバをインストールしてください。

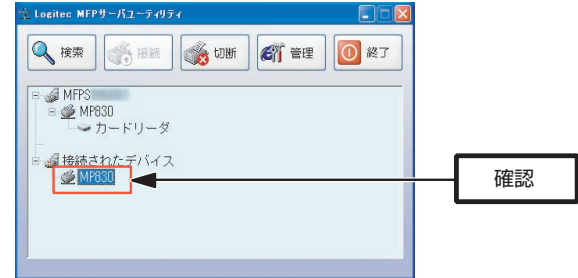
注意 プリンタによっては、プリンタドライバ、ユーティリティのインストール中にプリンタの接続を要求し、プリンタを接続して電源を入れないとインストールが完了できないものがあります。そのような場合は、ここで、プリンタのマニュアルを参照して指示に従ってインストールをおこなってください。

4 プリンタの電源を入れます。

MFPサーバユーティリティのサーバ名のアイコンの⊕マークをクリックし、表示されたプリンタを選択し、**接続**をクリックします。



5 自動的にプリンタがWindowsに認識され、プリンタのインストールが完了します。MFPサーバユーティリティの「接続されたデバイス」にインストールしたプリンタが表示されていることを確認してください。



これで、本製品の設定は完了です。「5. テスト印刷をしましょう」に進んでください。

5 テスト印刷をしましょう

最後にプリントサーバ(本製品)を経由して印刷できるかテストします。印刷設定などは実際にご使用になるプリンタの画面に合わせて設定してください。

画面例はWindows XPを使用していますが他のOSでも操作手順は同じです。

MEMO ネットワーク上の機器の電源について

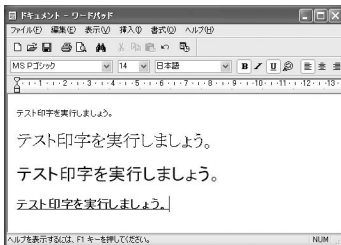
本製品を経由して印刷を実行するには、印刷を実行するパソコン以外に、ルータ、ハブの電源(ネットワークに存在する場合)、本製品、プリンタの電源を入れておく必要があります。

1 プリンタの電源が入っていることを確認します。

2 Windows 標準のワープロ機能であるワードパッドを起動します。

- ・[スタート]→[(すべての)プログラム]→[アクセサリ]から選択できます。
- ・他のアプリケーションを使用してもかまいません。

3 適当な文字を入力し、文字の種類や大きさを変えたり、修飾機能を使ったりしてサンプル文書を作成します。



4 [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

5. テスト印刷をしましょう

5 印刷ボタンをクリックします。



6 正常に印刷できれば、すべての作業は完了です。
テストに使用したアプリケーションを終了します。

Tips Windows XP の管理者権限について

Windows XP を起動すると、「開始するにはユーザー名をクリックしてください。」と表示されることがあります。これは複数のユーザーアカウントが登録されているためです。このような場合は、必ず「パソコンの管理者」の権限を持つアカウントでログオンしてください。

どのユーザーが「パソコン管理者」であるか分からない場合は、[スタート]ボタン→[コントロール]→[ユーザーアカウント]を選択してください。



画面の下にある現在登録されているアカウントを見ると、管理者権限のあるアカウントには「パソコンの管理者」と表示されています。

Chapter 3

基本操作編

本製品の基本的な操作方法について説明しています。
ユーティリティソフトおよびWeb設定ユーティリティのリファレンスについては、「Chapter 4 応用操作編」をお読みください。

1. プリンタの利用 40
2. スキャナの利用 43
3. プリンタ複合機に搭載された機能の利用 .. 46
4. 接続機器の取り外し 50

1 プリンタの利用

本製品を経由してプリンタを利用する方法を説明します。
「Chapter 2 導入編」で、本製品のユーティリティ、ドライバのインストールが完了してからお読みください。

プリンタから印刷する

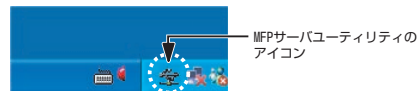
本製品に接続したプリンタからは、次の手順で印刷します。
本製品がネットワークに接続されていることを確認してから始めてください。

1 本製品の電源を入れます。

2 スタートメニューから[すべてのプログラム]→[Logitech]→[リモートパ
ーシャルUSB]を選択し、MFPサーバユーティリティを起動します。



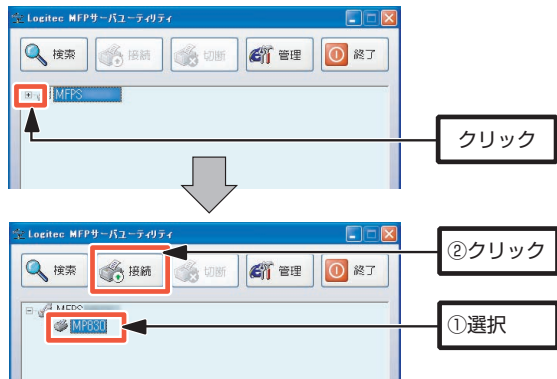
MFPサーバユーティリティをインストールする際に、「Windows起動時にリ
モートパ
ーシャルUSBを起動する」をチェックした場合は、すでにユーティ
リティが起動しています。タスクバーのアイコンでユーティリティが起動して
いることを確認し、アイコンをダブルクリックしてユーティリティの画面を
表示します。



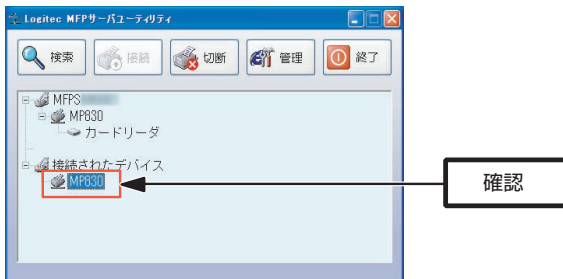
MEMO アイコンを右クリックして表示されたメニューから[ステータスパネル]
を選択してもユーティリティ画面を表示できます。



- 3** プリンタの電源を入れます。
MFPサーバユーティリティのサーバ名のアイコンの **+**マークをクリックし、表示されたプリンタを選択し、**接続**をクリックします。



- 4** 自動的にプリンタがWindowsに認識されます。MFPサーバユーティリティの「接続されたデバイス」にインストールしたプリンタが表示されていることを確認してください。



- 5** これで準備は完了です。アプリケーションを起動し、通常の印刷と同じようにプリンタを選択して印刷を実行します。

プリンタの設定を変更する

本製品は双方向通信機能に対応しています。
インク残量やプリンタヘッドのクリーニングなど、プリンタに付属のユーティリティ機能をパソコンにプリンタを直接接続している場合同じように利用できます。

利用方法については、プリンタに付属のマニュアルをお読みください。

双方向通信機能を利用したプリンタのユーティリティの例



2 スキャナの利用

本製品を経由してスキャナを利用する方法を説明します。

スキャナを導入する

本製品を経由してスキャナを利用するには、「2. 導入編」でのプリンタ導入と同様に、次の手順でおこなってください。プリンタドライバの代わりにスキャナドライバをインストールする以外の操作は同じです。

1. 本製品をネットワークに接続する
2. ドライバをインストールする
3. MFPサーバユーティリティをインストールする
4. ユーティリティでスキャナを選択して接続する

スキャナを操作する

本製品に接続したスキャナを、Windows XPの「スキャナ ウィザード」を利用して操作して画像を取り込む手順を説明します。

本製品がネットワークに接続されていることを確認してから始めてください。スキャナ機能を搭載したプリンタ複合機で説明していますが、スキャナ単体製品でも操作は同じです。

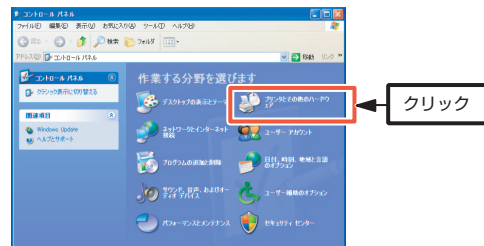
MFPサーバユーティリティでスキャナを接続したあとは、スキャナに付属のユーティリティを使用して画像を取り込むこともできます。
※スキャナ本体のスキャンボタンを押しても取り込めません。

- 1 本製品の電源を入れ、MFPサーバユーティリティでスキャナを接続します。操作は、「プリンタから印刷する」と同じです。P40-41の手順1~4を参照し、プリンタをスキャナに読み替えてください。

- 2 スキャンする原稿をセットします。
詳細は、スキャナのマニュアルを参照してください。

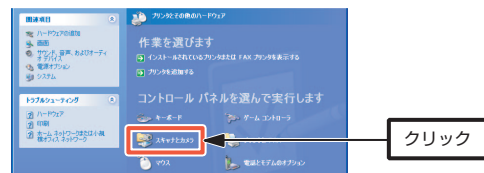
2. スキャナの利用

- 3 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。



「クラシック表示」の場合は、「スキャナとカメラ」をダブルクリックして手順5に進んでください。

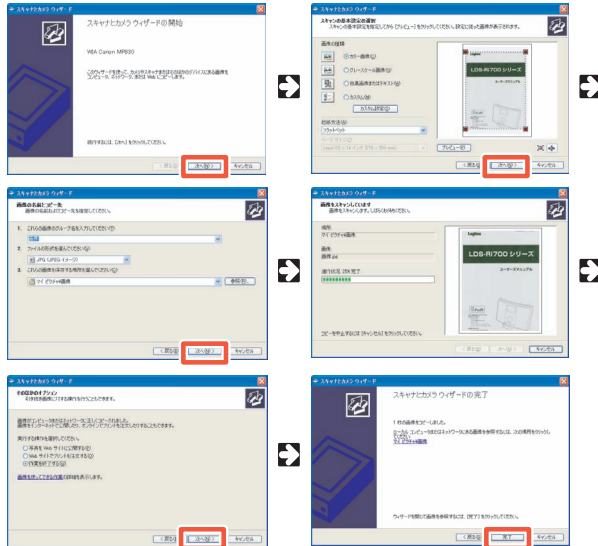
- 4 「スキャナとカメラ」をクリックします。



- 5 使用するスキャナを選択し、「画像を取得する」をクリックします。



- 6 「スキャナとカメラ ウィザード」が起動しますので、指示に従って画像をスキャンして、画像を保存します。これで操作は完了です。



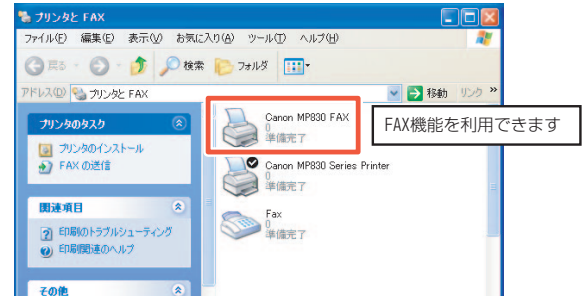
3 プリンタ複合機に搭載された機能の利用

本製品にプリンタ複合機（プリンタにスキャナやFAXなどの機能を統合した製品）を接続すると、スキャナ、FAX、ストレージデバイス（メモリーカードなどの記憶媒体）など、複合機に搭載された機能を本製品経由で利用できます。

- スキャナの利用
→ 「2. スキャナの利用」(P43) をお読みください。
- FAXの利用
→ このあとの「FAXの利用」をお読みください。
- ストレージデバイスの利用
→ このあとの「ストレージデバイスの利用」をお読みください。

FAXの利用

接続したプリンタがFAX機能を搭載している場合は、プリンタをMFPサーバユーティリティで接続することで、本製品経由でFAXを利用できます。詳細は、プリンタのマニュアルを参照してください。



ストレージデバイスの利用

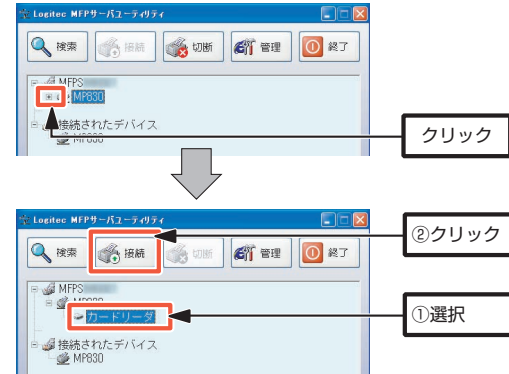
接続したプリンタが、メモ리카ードスロットやデジタルカメラなどのストレージデバイスを接続する機能を搭載している場合は、プリンタをMFPサーバーティリティで接続することで、接続したストレージデバイスを外部記憶領域として利用できます。

プリンタに接続したストレージデバイスを本製品経由で利用する方法を説明します。

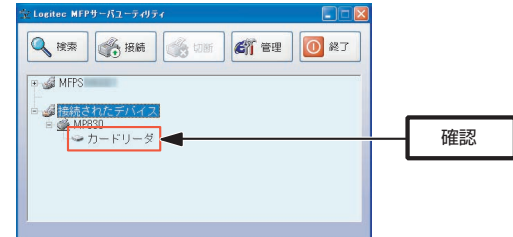
注意 プリンタ複合機でサポートされていないストレージデバイスは、本製品経由でも利用できません。

- 1 本製品にプリンタを接続し、プリンタが利用できる状態にします。
手順については、導入編の「4. 本製品の設定をしましょう」(P34)をお読みください。
- 2 プリンタのメモ리카ードスロットなどに、ストレージデバイスを接続します。
手順については、お使いのプリンタのマニュアルを参照してください。
- 3 MFPサーバーティリティのサーバ名のアイコンの⊕マークをクリックし、プリンタを表示します。さらに、プリンタのアイコンの⊕マークをクリックすると、ストレージデバイスが表示されますので、選択して「接続」をクリックします。

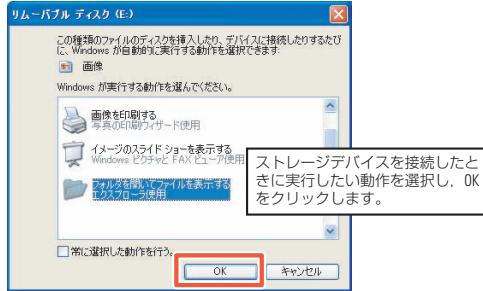
3. プリンタ複合機に搭載された機能の利用



- 4 自動的にストレージデバイスが「リムーバブルディスク」としてWindowsに認識されます。MFPサーバーティリティの「接続されたデバイス」にストレージが表示されていることを確認してください。



お使いのWindowsの設定によっては、次の画面が表示されます。
目的に応じた動作を選択して「OK」をクリックしてください。



これでストレージデバイスの設定は完了です。「マイコンピュータ」などからリムーバブルドライブとしてデータの読み出し、保存ができるようになります。

4 接続機器の取り外し

本製品に接続した機器は、MFPサーバユーティリティ上で「切断」してから取り外してください。

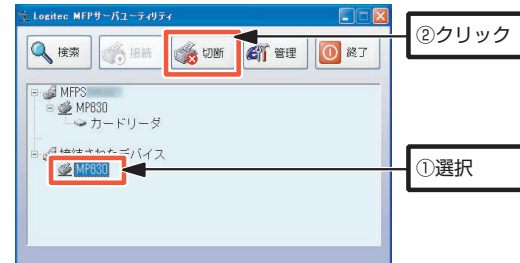
また、本製品経由で接続している機器の電源が切れた場合や、機器を使用しない時間が長く続くと、MFPサーバユーティリティによる接続が切断されます。再び接続機器を使用する場合は、「接続」ボタンをクリックして再接続してください。

注意 機器を使用中にMFPサーバを終了したり、機器を使用中に本製品から取り外すと、使用中のデータが破損することがあります。必ずMFPサーバユーティリティ上で切断してから取り外してください。

接続機器を切断する

本製品への接続を切断するには、「接続されたデバイス」から切断したい機器を選択し、「切断」ボタンをクリックします。

※接続機器に搭載されたストレージデバイスなども同時に切断されます。



MEMO 接続機器のアイコンを右クリックして表示されたメニューから「デバイスの取り外し」を選択しても切断できます。

ストレージデバイスのみを切断する

メモリーカードなどのストレージデバイスの取り外しは、「接続されたデバイス」からストレージデバイスを選択し、**切断** ボタンをクリックしてからおこなってください。



注意 ストレージデバイスを使用中にMFPサーバを終了したり、使用中にプリンタから取り外すと、使用中のデータが破損することがあります。必ずMFPサーバ上で切断してから取り外してください。

MEMO 接続機器またはストレージデバイスのアイコンを右クリックして表示されたメニューから[カードリーダーを無効]を選択しても切断できます。

[× モ]

Chapter 4

応用操作編

応用操作編では、次の内容について説明しています。
基本操作については、「Chapter 3 基本操作編」をお読みください。

- 管理ソフト「MFPサーバユーティリティ」を使って設定できる本製品のオプション機能
- Web設定ユーティリティの設定項目と操作方法

1. MFPサーバユーティリティのリファレンス 54
2. Web設定ユーティリティについて …… 64
3. ファームウェアのアップデート …… 73
4. 本製品のリセットボタンの使用方法 …… 75

1 MFPサーバユーティリティのリファレンス

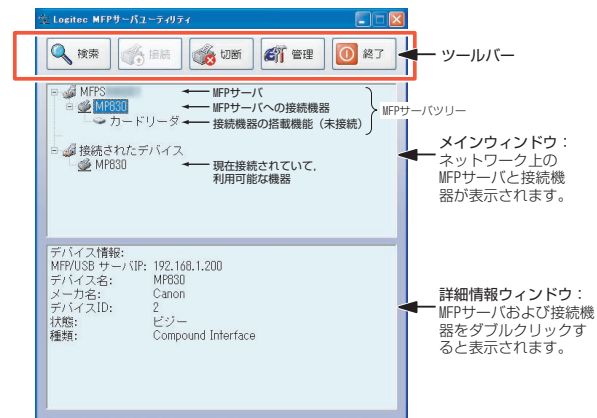
MFPサーバユーティリティは、次の機能を持ったソフトウェアです。

- ネットワーク内のMFPサーバの検索
- 本製品を経由しての機器接続、切断
- Web管理画面の起動
- お気に入りリストの管理
- ステータスパネルの表示

本製品のIPアドレスの変更などは、Web管理画面からおこないます。「2. Web設定ユーティリティについて」(P67)を参照してください。

メイン画面






メイン画面について説明します。



メイン画面の機能

メイン画面のツールバーの機能、画面表示項目について説明します。

●ツールバーの機能

	検索ボタン ネットワーク上のMFPサーバを検索します。
	接続ボタン 選択した機器を接続します。接続方法については、「本製品の設定をしましょう」(P34)をお読みください。
	切断ボタン 選択した機器を切断します。詳細は、「接続機器の取り外し」(P50)をお読みください。
	管理ボタン Web管理画面を表示します。詳細は、「Web設定ユーティリティについて」(P67)をお読みください。
	終了ボタン MFPサーバユーティリティを終了します。 本製品に接続している機器は、強制的に切断され、使用できなくなります。

●詳細情報ウィンドウの表示項目 (MFPサーバ選択時)

サーバ名	MFPサーバの名称が表示されます。 → Web設定画面で変更できます〔[セットアップ]→[システム] (P67)〕。
IPアドレス	IPアドレスが表示されます。 → Web設定画面で変更できます〔[セットアップ]→[TCP/IP] (P69)〕。
MACアドレス	MACアドレスが表示されます。
サブネットマスク	サブネットマスクが表示されます。 → Web設定画面で変更できます〔[セットアップ]→[TCP/IP] (P69)〕。
ゲートウェイ	ゲートウェイアドレスが表示されます。 → Web設定画面で変更できます〔[セットアップ]→[TCP/IP] (P69)〕。
ポート番号	ネットワークポート番号が表示されます。

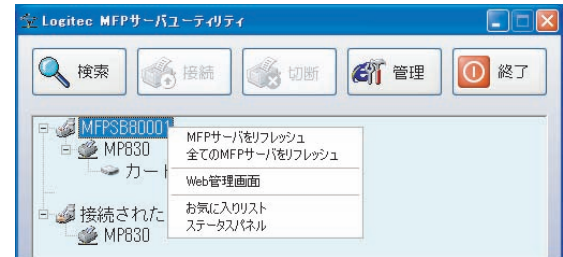
●詳細情報ウィンドウの表示項目 (接続機器選択時)

MFP/USBサーバIP	接続機器のIPアドレスが表示されます。
デバイス名	ネットワーク上の接続機器の名称が表示されます。 接続機器固有の名称のため、変更できません。
メーカー名	接続機器のメーカー名が表示されます。
デバイスID	本製品から自動的に割り振られるID番号です。
状態	接続機器の状態が表示されます。
種類	接続インタフェースの種類が表示されます。

右クリックメニュー

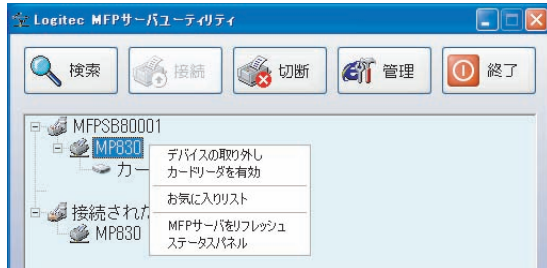
各項目を右クリックすることで表示されるサブメニューについて説明します。

●右クリックメニュー (MFPサーバ)



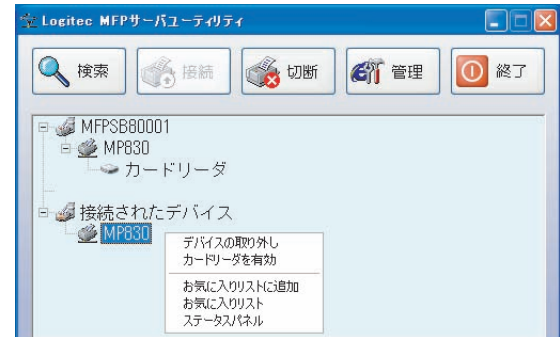
MFPサーバをリフレッシュ	選択したMFPサーバの接続機器を再検索し、表示を更新します。
全てのMFPサーバをリフレッシュ	ネットワーク上のすべてのMFPサーバの接続機器を再検索し、表示を更新します。
Web管理画面	選択したMFPサーバのWeb管理画面を表示します。
お気に入りリスト	お気に入りリストを表示します。 → 「お気に入りリスト」(P60)をお読みください。
ステータスパネル	ステータスパネルを表示します。 → 「ステータスパネル」(P63)をお読みください。

●右クリックメニュー【接続機器】—MFPサーバツリー



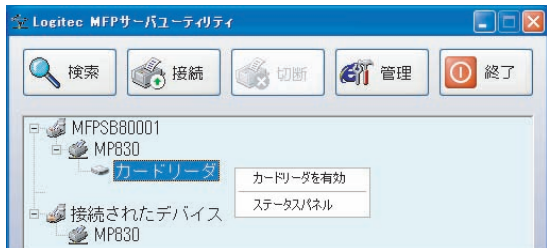
デバイスの接続／ デバイスの取り外し	選択した機器を接続／切断します。
カードリーダーを有効 ／無効	選択した機器に搭載されているストレージデバイスを 接続／切断します。
お気に入りリスト	お気に入りリストを表示します。 →「お気に入りリスト」(P60) をお読みください。
お気に入りリスト から削除	選択した機器をお気に入りリストから削除します。 →「お気に入りリスト」(P60) をお読みください。
MFPサーバを リフレッシュ	接続しているMFPサーバの接続情報を更新します。
ステータスパネル	ステータスパネルを表示します。 →「ステータスパネル」(P63) をお読みください。

●右クリックメニュー【接続機器】—接続されたデバイス



デバイスの取り外し	選択した機器の接続を切断します。
カードリーダーを有効 ／無効	選択した機器に搭載されているストレージデバイスを 接続／切断します。
お気に入りリスト に追加	お気に入りリストに接続機器を追加します。 →「お気に入りリスト」(P60) をお読みください。
お気に入りリスト から削除	選択した機器をお気に入りリストから削除します。 →「お気に入りリスト」(P60) をお読みください。
お気に入りリスト	お気に入りリストを表示します。 →「お気に入りリスト」(P60) をお読みください。
ステータスパネル	ステータスパネルを表示します。 →「ステータスパネル」(P63) をお読みください。

●右クリックメニュー【ストレージデバイス】



カードリーダーを有効／無効	選択した機器に搭載されているストレージデバイスを接続／切断します。
ステータスパネル	ステータスパネルを表示します。 →「ステータスパネル」(P63)をお読みください。

※「接続されたデバイス」上で右クリックした場合と共通です。

お気に入りリスト

「お気に入りリスト」に接続機器を登録しておくことで、次の機能を利用できます。

●お気に入りの自動接続

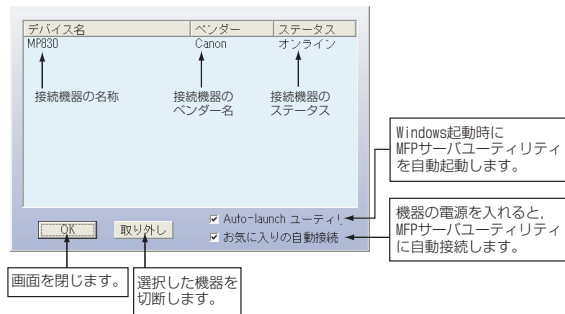
MFPサーバユーティリティを起動しておけば、電源投入と同時に本製品に接続された機器に接続されます。接続機器はID管理されますので、複数機器を切り替えても設定は保持されます。

●Auto-launchユーティリティ（自動起動）

Windows起動時にMFPサーバユーティリティを自動起動します。「お気に入りの自動接続」と組み合わせることで、Windows起動時にユーティリティの起動、機器の接続を自動化できます。

このほか、お気に入りリストの画面から、接続機器の切断ができるようになります。

お気に入りリストは、接続機器のアイコンを右クリックして、「お気に入りリスト」を選択して表示します。

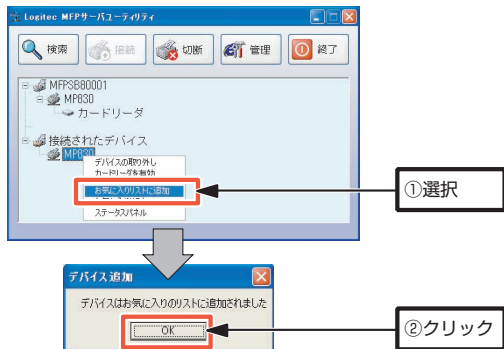


お気に入りリストへの追加, 削除

お気に入りリストへの接続機器の追加, 削除は, 次の手順でおこないます。

●お気に入りリストへの追加

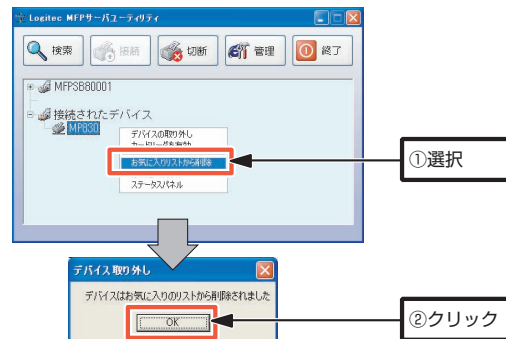
MFPサーバーティリティで機器を接続し, 「接続されたデバイス」で接続機器のアイコンを右クリックして, 「お気に入りリストに追加」を選択します。



MEMO ストレージデバイス単体では, お気に入りリストで管理できません。接続機器と連動して管理されます。

●お気に入りリストからの削除

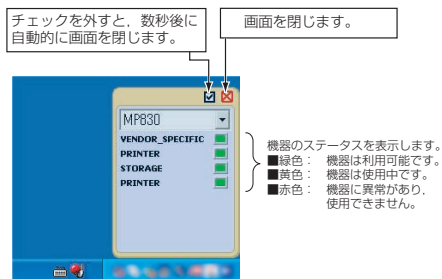
「接続されたデバイス」で接続機器のアイコンを右クリックして, 「お気に入りリストから削除」を選択します。



ステータスパネル

「ステータスパネル」では、接続機器の状態を確認できます。ステータスパネルは、Windowsの画面右隅に表示されます。パネル位置は移動できません。

ステータスパネルは、各アイコンの右クリックメニューから表示します。→「右クリックメニュー」(P55)をお読みください。



2 Web設定ユーティリティについて

本製品には、Webブラウザに対応した設定ユーティリティがあります。Web設定ユーティリティには、次の機能があります。

- システム情報（サーバ名、MACアドレス）の表示／変更
- TCP/IP情報（IPアドレス）の表示／変更
- 管理者パスワードの入力／変更
- 本製品の初期化、再起動
- 本製品のファームウェア更新



Web設定ユーティリティの表示方法

次の2種類の方法があります。

- ① MFPサーバユーティリティ上でMFPサーバを選択して、**管理** ボタンをクリックする。
→「MFPサーバユーティリティのリファレンス」をお読みください。
- ② Webブラウザの[アドレス]に「http://（本製品のIPアドレス）」を入力して、Enterキーを押す。
※MFPサーバユーティリティを起動しなくても接続できます。



初期設定の場合「http://192.168.1.200/」と入力してリターンキーを押します。

MEMO

●本製品のIPアドレス

本製品の初期値のIPアドレスは192.168.1.200です。DHCPサーバ機能を使用している場合など、現在のIPアドレスがわからない場合は、MFPサーバユーティリティを起動して確認してください。

→「メイン画面の機能」(P55)

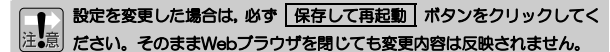
●Web管理画面のパスワード

本製品にパスワードが設定されている場合は、次の画面が表示されます。「ユーザ名」、「パスワード」の両方に設定したパスワードを入力して、**OK** ボタンをクリックしてください。工場出荷時の初期設定では、パスワードは設定されていません。



Web設定ユーティリティのリファレンス

Web設定ユーティリティの設定項目について説明します。



ステータス

ステータスメニューでは、システム情報、TCP/IP情報を表示します。

●システム



サーバ名	MFPサーバのネットワーク上の名称を表示します。 初期値：MFPS “MACアドレスの下位6桁”
バージョン	本製品のファームウェアのバージョンを表示します。
MACアドレス	本製品のMACアドレスを表示します。

●TCP/IP



IPアドレスの自動取得	DHCPクライアント機能の有効/無効を表示します。 ON: DHCPクライアント機能は有効です。 本製品のIPアドレスはネットワーク内のDHCPサーバから自動取得されます。 OFF: DHCPクライアント機能は無効です(初期値)。 本製品のIPアドレスは手動で設定する必要があります。
IPアドレス	本製品のIPアドレスを表示します。 初期値: 192.168.1.200
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを表示します。 初期値: 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	本製品のデフォルトゲートウェイを表示します。 初期値: 192.168.1.254

セットアップ

セットアップメニューでは、システム情報、TCP/IP情報を変更します。

●システム



<システム設定>

サーバ名	MFPサーバのネットワーク上の名称を設定します。 半角15文字まで登録可能です。英数字のほか「- (ハイフン)」が使用できます。大文字/小文字は区別されません。また、以下の名称と重ならないように設定してください。 ・ Novell NetWareファイルサーバ ・ Novellネットワーク用に構成されたプリントサーバ ・ Microsoftネットワーククライアントまたはサーバ
------	---



ネットワーク内で複数のプリントサーバを使用している場合は、同じ名称にならないようにサーバ名を変更してください。

<管理者パスワードの設定>

新しいパスワードの
入力、
新しいパスワードの
確認入力

Web管理画面にログインするためのパスワードを設定します。工場出荷時にはパスワードは設定されていません。
パスワードは、半角英数字8文字まで入力できます。「新しいパスワードの入力」にパスワードを入力し、「新しいパスワードの確認入力」にも同じパスワードを入力してください。

●TOP/IP

<p>IPアドレスを自動的に取得する</p>	<p>DHCPサーバ機能をご使用の場合、この項目を選択すると、自動的に本製品のIPアドレス等を取得できます。ルータなどのDHCPサーバ機能をご使用の場合はこちらを選択します。</p>
<p>次のIPアドレスを使う</p>	<p>ネットワーク内にDHCPサーバ機能がない場合はこちらを選択し、以下の各項目を実際のネットワークに合わせて入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IPアドレス ・ サブネットマスク ・ デフォルトゲートウェイ

システムツール

システムツールメニューでは、本製品の設定内容の初期化、ファームウェア更新をおこないます。

●初期化

OK ボタンをクリックすると、本製品の設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

●ファームウェア更新

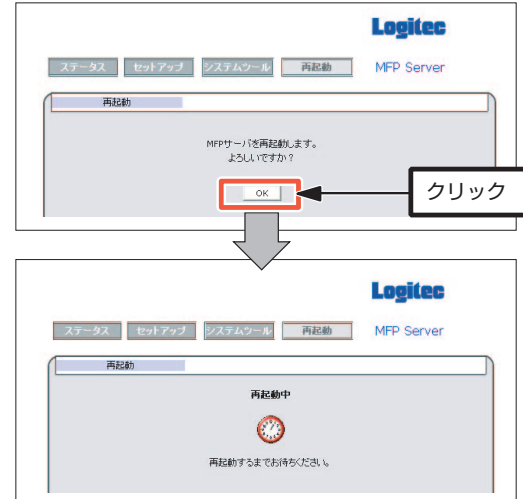


本製品のファームウェアを更新します。
「3. ファームウェアのアップデート」(P73)を参照してください。

再起動

本製品を再起動します。動作が不安定になった場合は、本製品を再起動することで改善されることがあります。

本製品を再起動するには、**OK** ボタンをクリックします。



3 ファームウェアのアップデート

本製品は、内蔵されたフラッシュメモリにより、容易にファームウェアをアップデートできます。最新情報は、弊社のホームページ (<http://www.logitec.co.jp>) で確認してください。

アップデート作業は、次の手順でおこなってください。

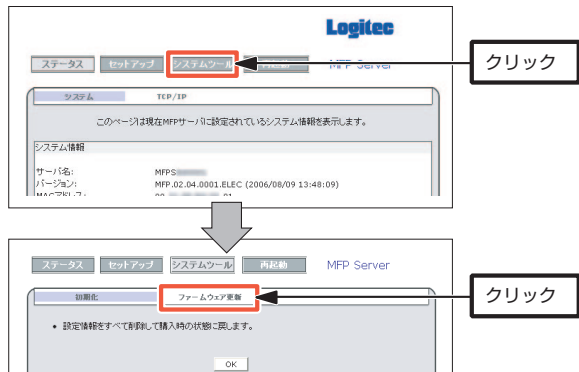
1 本製品に接続可能なパソコンに、ダウンロードしたアップデートファイルをコピーします。

アップデートファイルは、「xxx.bin」の形式で提供されます。任意の場所にコピーしてかまいません。

2 Web設定ユーティリティを起動します。

「Web設定ユーティリティの表示方法」(P65) を参照してください。

3 [システムツール]→[ファームウェア更新]を選択します。

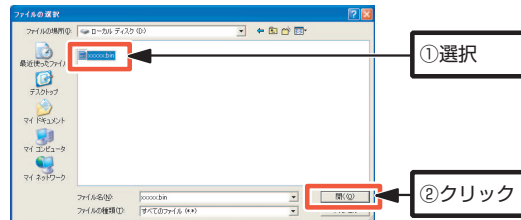


3. ファームウェアのアップデート

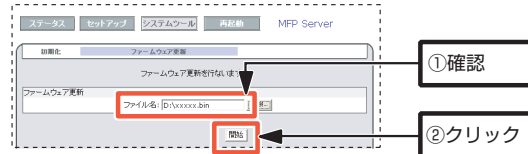
4 参照 ボタンをクリックします。



5 「ファイルの選択」ダイアログが表示されます。アップデートファイルを選択して、開く ボタンをクリックします。



6 「ファイル名」にアップデートファイルが表示されていることを確認して、「開始」ボタンをクリックします。アップデートが終わるとプリントサーバが再起動します。これでアップデート作業は完了です。



注意 更新中は絶対に電源を切らないでください。保存した情報がなくなるばかりか、本製品が正常動作しなくなってしまうことがあります。

4 本製品のリセットボタンの使用方法

本製品のリセットボタンの使用方法について説明します。

リセットボタンの位置については、「本体各部の名称とはたらき」(P10)をお読みください。

リセットボタンには、次の2つの機能があります。

- ①本体の再起動
- ②本体の初期化（工場出荷時の状態に戻す）

本体の再起動

まっすぐに伸ばしたゼムクリップなど先の細いものを用意します。

電源を投入したまま、用意したゼムクリップなどでリセットボタンを押し、すぐに放すと、本製品が再起動されます。

本体の初期化

まっすぐに伸ばしたゼムクリップなど先の細いものを用意します。

本製品の電源を一度切断し、用意したゼムクリップなどでリセットボタンを押した状態で電源を投入します。電源を投入して数秒後に放すと、本製品の設定が工場出荷時の状態に初期化されます。



すべての設定が初期化されますので、必要に応じて設定情報をメモなどに残すようにしてください。

4. 本製品のリセットボタンの使用方法

[× モ]

Chapter 5

付録編

付録編では、次の内容について説明しています。必要に応じてお読みください。

- トラブルが発生した場合の対処方法

1. こんなときは	78
2. 基本仕様	83

1 こんなときは

MEMO セットアップメニューから参照できるFAQもご覧ください。

■どのパソコンからも印刷できない

●必要な設定をすべてのパソコンにおこないましたか？

→別紙「プリントサーバ セットアップガイド」の「セットアップの手順を確認しましょう」をお読みになり、すべての作業が完了しているかを確認してください。

●機器の電源は入っていますか？

→印刷を実行するパソコンの電源以外に、ルータ／ハブ(使用している場合)、プリンタ、本製品の電源を入れておく必要があります。また、ルータをご使用の場合、最初にルータの電源を入れるようにしてください。

●各機器のケーブルは正しく接続されていますか？

→別紙「プリントサーバ セットアップガイド」の接続の説明をお読みになり、正しく接続されていることを確認してください。

●DHCPサーバ機能がないネットワークの場合、IPアドレスの設定はしましたか？

→DHCPサーバ機能がないネットワークでは、各パソコンのTCP/IPプロトコル設定で、IPアドレス、サブネットマスクなどを手動で設定する必要があります。また、同じネットワーク上のパソコンのIPアドレスは重複しないように設定する必要があります。P19を参考にTCP/IPプロトコルの設定を確認してください。

■特定のパソコンから印刷できない**●そのパソコンのTCP/IPプロトコルは使用可能になっていますか。IPアドレスの設定は正しいですか？**

- A. ネットワーク上の各パソコンは、TCP/IPプロトコルが使用可能な状態にしておく必要があります。
- B. DHCPサーバ機能がある場合は、IPアドレスが自動取得されるように設定しておく必要があります。
- C. DHCPサーバ機能がない場合は、IPアドレスを手動で割り当てる必要があります。このとき、ほかのパソコンのIPアドレスと重複してはいけません。
- A・B・Cいずれの場合も、P19の説明を参考にTCP/IPプロトコルの設定を確認してください。

●プリンタドライバはインストールしましたか？

→各パソコンには、プリンタを直接接続して印刷するときと同じようにプリンタドライバをインストールする必要があります。→ P15

●MFPサーバユーティリティをインストールしましたか？

→本製品を経由してプリンタから印刷するには、本製品のソフトウェアパックに収録されているMFPサーバユーティリティというソフトウェアをインストールする必要があります。→ P16

●MFPサーバユーティリティでプリンタを接続しましたか？

→MFPサーバユーティリティをインストールした後に、ご使用になるプリンタをMFPサーバユーティリティで登録する必要があります。→ P34

■パソコンのIPアドレスがわからない。

→P17の「パソコンのネットワーク設定を確認、変更する」または、P81「パソコンのIPアドレスを知りたいとき」を参考にして確認してください。

■MFPサーバユーティリティからプリントサーバが検出できない**●本製品と管理用パソコンは同じセグメントにいますか？**

→本製品と管理用パソコンは、ネットワーク上で同一のセグメント(192.168.1.xxx)にいる必要があります。本製品と管理用パソコンのIPアドレスを確認してください。

●Windowsファイアウォールが有効になっていませんか？

→パソコンのOSがWindows XPのSP2の場合、「Windowsファイアウォール」が有効になっていると、本製品を検出できないことがあります。P81の「本製品を「Windowsファイアウォール」の例外に設定する」をお読みになり、本製品を「例外」に設定してください。
※正しくインストールすれば例外になっています。→P31

パソコンのIPアドレスを知りたいとき

コマンドプロンプトを表示し、「ipconfig」を実行してください。

- ① [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を選択します。
- ② 「>」の後ろでカーソル点滅していますので、キーボードから「ipconfig」と入力し、**Enter**キーを押します。
- ③ IPアドレス等が表示されます。

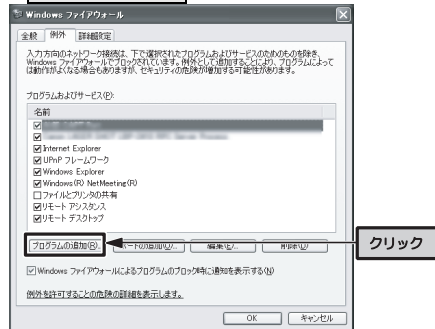
```
C:\Documents and Settings\User> ipconfig
Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix  . : WorkGroup
    IP Address . . . . . : 192.168.1.16
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.1.254
```

本製品を「Windowsファイアウォール」の例外に設定する

- ① [コントロールパネル] から「Windowsファイアウォール」を選択します。
- ② <例外>タブをクリックします。
- ③ **プログラムの追加** ボタンをクリックします。




- ④ 「プログラムの追加」ダイアログが表示されますので、「Remote Virtual USB Client」を選択して、**OK**ボタンをクリックします。
- ⑤ 「プログラムおよびサービス」に「Remote Virtual USB Client」が表示され、チェックマークが有効(し)になっていることを確認し、**OK**ボタンをクリックします。
- ⑥ これで、本製品がWindowsファイアウォールの例外に設定されました。

5 基本仕様

規格	IEEE802.3u (100BASE-TX) / IEEE802.3 (10BASE-T), USB2.0 High-Speed
転送スピード (理論値)	100Mbps (100BASE-TX) / 10Mbps (10BASE-T)
インターフェイス	ネットワークインターフェイス : RJ-45(Auto MDI/MDI-X) プリンタインターフェイス : USBコネクタA (メス) ※ USB2.0 High-Speed (従来のUSB1.1にも対応)
電源仕様	AC100V±10% (50/60Hz)
消費電力 (定格)	2.2W (ACアダプタを含む)
対応機種	PC/AT互換機 (DOS/V), NEC PC98-NXシリーズでTCP/IP プロトコルによるネットワーク通信が可能な機種 (自作機を除く)
対応OS	Windows XP (SP2以降) Windows 2000 Professional (SP4以降)
対応プリンタ/ 対応機器	USB (USB1.1以上) タイプのプリンタポートを持つプリンタ、 スキャナ、およびプリンタを基本機能とした複合機 ※ USB1.1にのみ対応のプリンタを接続した場合、USB1.1 (理論値12bps) で動作します。
対応プロトコル	TCP/IP ※ Windows Printing Systemには対応していません。
環境条件	動作時: 温度0°C~+50°C / 湿度10%~70% (結露なきこと) 保管時: 温度-5°C~+65°C / 湿度0%~80% (結露なきこと)
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	64mm×73mm×28mm
質量	約60g (付属品含まず)

- 最新の動作環境は、弊社ホームページ (<http://www.logitech.co.jp>) でご確認ください。
- すべてのパソコン、OS環境からの動作を保証するものではありません。
- すべてのプリンタ (複合機含む)、スキャナでの動作を保証するものではありません。
- ご利用のOSに対応したプリンタドライバが供給されていないプリンタでは、印刷できません。

プリントサーバ設定マニュアル (LAN-MFPS/U2用)

発行  ロジテック株式会社 2006年9月 第1版

©2006 LOGITEC CORPORATION. All rights reserved.

0609-PS-004N

Logitech